

2 幼児のための青少年赤十字

幼稚園・保育所の先生方へ

この資料は「青少年赤十字ハンドブック小学校(日本赤十字社)」「初神保育所活動資料(広島県熊野町)」をもとに、幼児向けになればと編集したものです。

下記に内容を記しております。幼児の発達段階に応じて、説明を加えたり、さらに、内容の編集をして活用ください。別記のPowerPointからも選択してご活用ください。

内

容

- 赤十字ってなに (3～6ページ)
- ボランティアってなに かんがえて みましょう (7～8ページ)
- 子ども赤十字のやくそく (9ページ)
- 青少年赤十字って 何をするの (10～15ページ)
- いのちをまもる 赤十字のマーク (16～17ページ)
- せんそうにも ルールあるよ (18～20ページ)

赤十字の父 アンリー・デュナン(21～25ページ)

青少年赤十字のマークについて

みなさん こんにちは

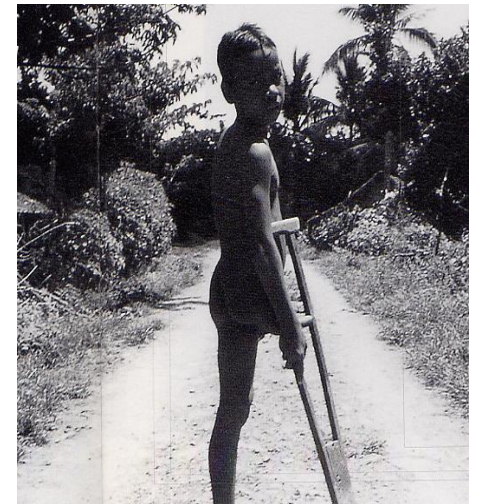
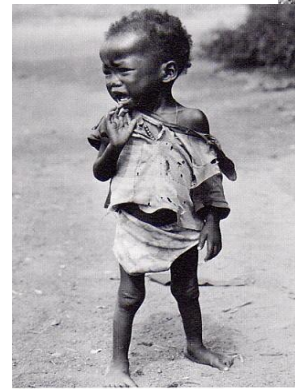
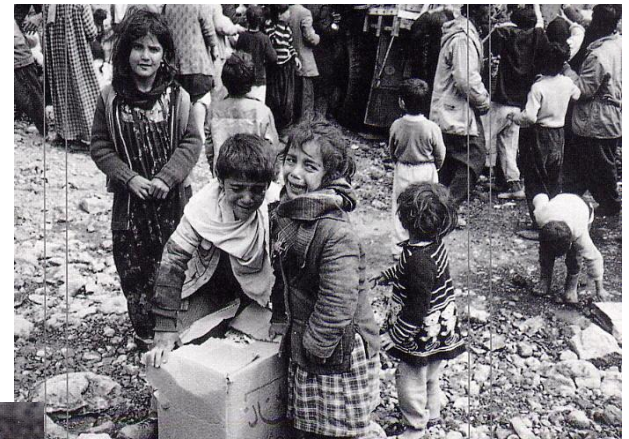


青少年赤十字
こども赤十字

日本赤十字社愛媛県支部

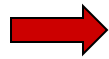
青少年赤十字って なあに

みなさん まちのなかやようちえん ほいくしょ
テレビなどで、みることがありますね。



どんなきもちになりますか

こまっているひと
くるしんでいるひと



「なにか おやくにたつことをしてあげたい」(やさしさ・おもいやりのきもち)

みたら

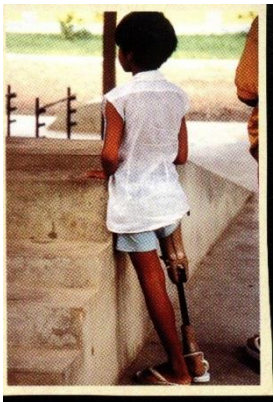


きづく
かんがえ
じっこうする



もくてき

め あ て



青少年赤十字のねらい

くるしん
でいるひ
とやこ
まってい
るひと
.....
をみかけ
ると

「なにかやくにた
つことをしてあげ
たい」というきもち

やさしさ
おもいやりを
じっこうする



そのことが
ひとのため
になります。

やさしさ・おもいやり

おはなしをききましょう

なかれんよ

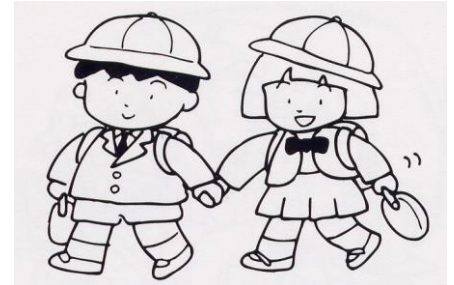
ぼくがいっしょに

おるけんね

(おともだちのさくひん)



SD48_01



ボランティアってなに？



うさぎさんが

きづいたこと
かんがえついたこと
していること

たぬきさんが

していること

おさるさんが

していること

もぐらさんが

していること



こどもせきじゅうじ の やくそく

わたくしは
じょうぶなからだで
げんきなこどもになります

わたくしは
よいおこないをして
みんなのおやくにたちます

わたくしは
せかいのみんなと
なかよくなれます

とう ろく しき
登 録 式



はたあげ



ふうせんとばし



ミニ うんどうかい



けんこう ・ あんぜん
健康・安全

じょうぶなからだで げんきなこども
になります



おはなしをききましょう

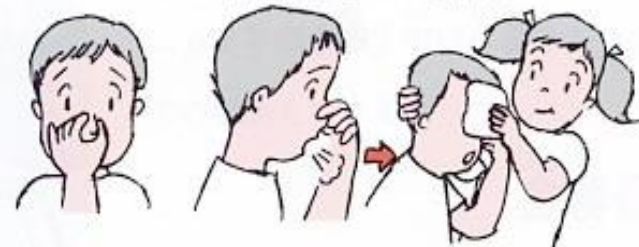
はなぢ
● 鼻血

首の後ろをたたかない

1. 鼻をつまむ

2. あごを引き、
口で息をする

3. 鼻からあでこにかけて
冷やす



健康で安全な生活を送るために必要なことについて

- ・ けがの予防と応急手当について
- ・ 生命にかかわる事故につて
- ・ 傷病者の運び方について

など、学習しましょう

つ ぶし
● 突き指

指を引っばらない

1. 動かさない
2. よく冷やす

3. 手当を受ける



ほうし
奉仕

よいおこないをしてみんなのおやくに
たちます。



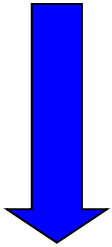
がんばりましょう



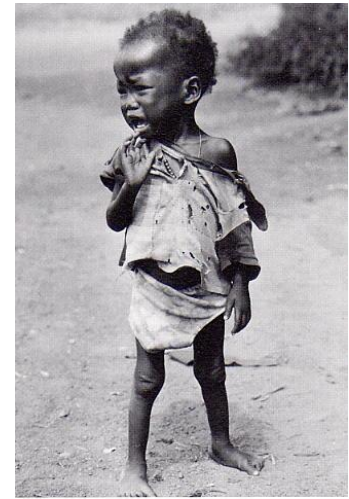
せかい 世界のなかま

世界のじんこう

60おくにん



21おくにん
は子どもた
ちです

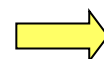


こまったり、くるしんでいます。

うち、18おくに
んが、まずしい
くらしをしてい
ます



その
げんいん



病気(びょうき)
紛争(ふんそう)
災害(さいがい)
貧困(ひんこん)

こくさい りかい ・ しんぜん
国際理解・親善

おはなしをききましょう

せかいのなかまとなかよくなれます

いちえんだまぼきん

一円玉募金



い ち え ん だ ま ぼ き ん 一 円 玉 募 金

おはなしをききましょう

世界
には

- ・1億100万人の子どもたちが学校に通っておらず。男子より女子が多い。
- ・11億人はトイレを利用できず。屋外で用を足しています。
- ・下痢が原因で、毎年、150万人の5歳未満子どもが死亡しています。



わたくしたちは、
一円玉募金をして、このひとたち
をたすけています。

- ・モンゴル
- ・ネパール
- ・バングラデシュ

赤十字マークのいみ

「いのち」をまもる「赤十字のマーク」



おはなしをききましょう

保 護 (ほご)

戦争や紛争時に傷病兵を保護するための要員や施設を保護するための印。

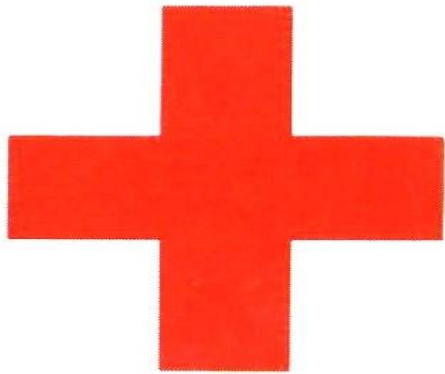
このマークを掲げている人や施設は、中立のものとして保護されなければならない。

表 示 (ひょうじ)

赤十字に関係のある物や施設、人を表す。

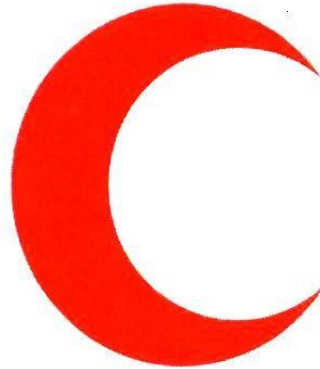
げんざい せかいでつかわれているマーク

おはなしをききましょう



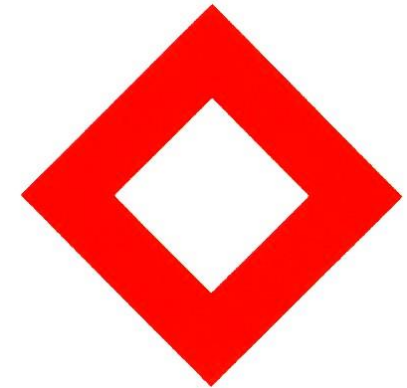
せきじゅうじ

赤十字の父アン
リー・デュナンの祖国
スイスに敬意を表し、
スイスの国旗の配色
を逆さにしたもの



せきしんげつ

白地に赤十字は、
イスラム教徒に不
快の念を抱かせ
るとしてトルコが
赤新月の使用を
主張し、1929年に
承認された。



レッドクリスタル

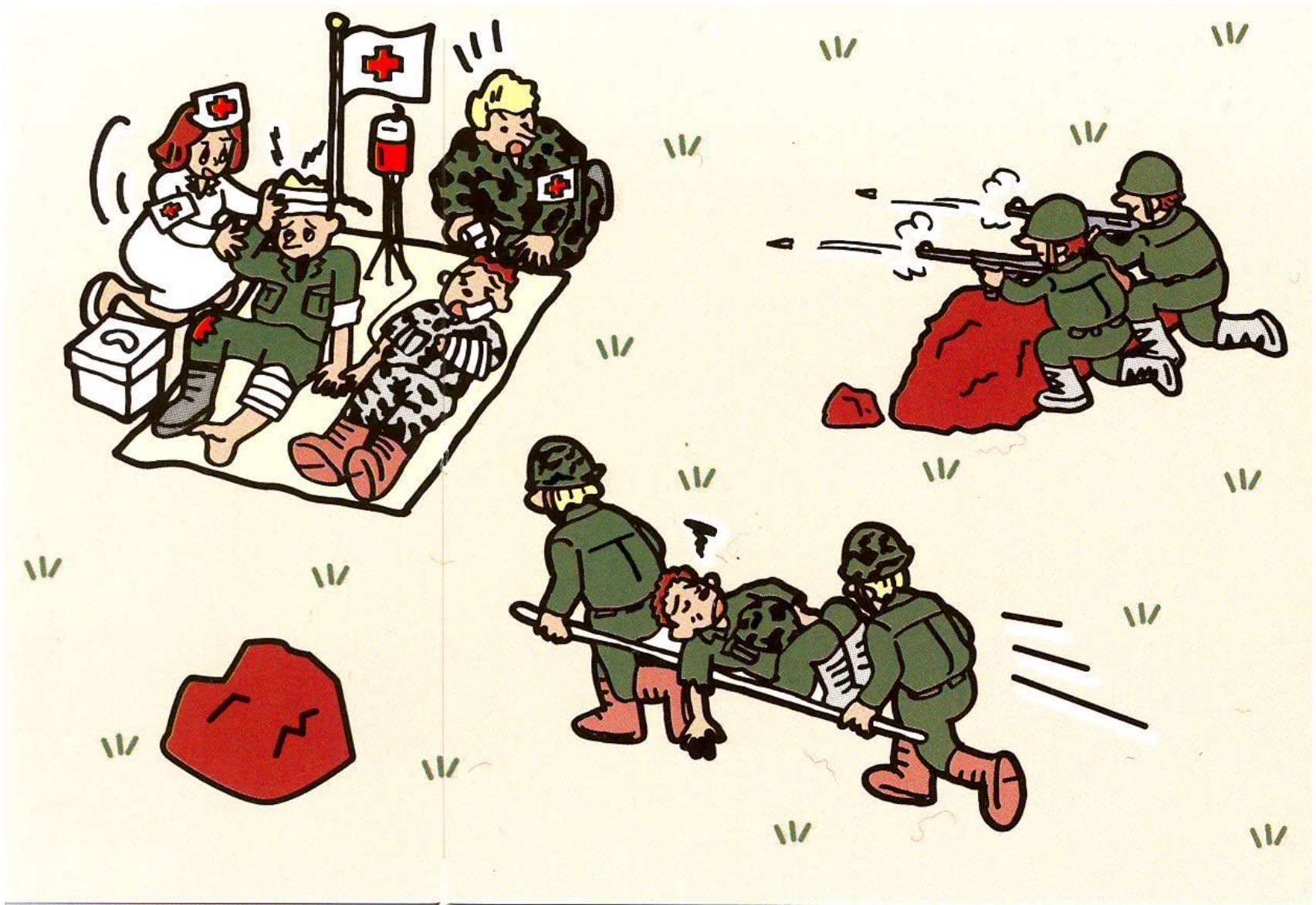
標章の宗教性の問題で加盟
できなかったイスラエルが赤
十字の一員になり、併せてパ
レスチナの加盟も認められた。

赤いクリスタルの中に独自の
マークを入れることも認めら
れた。(2006年6月20日～22
日第29回赤十字・赤新月国
際会議)

「せんそう」にもルールがあります。



「してはならないこと」「まもらなければならないこと」



まも

ぼくたち、わたしたちにも、守らなきゃいけないきまりがあるよ

ああんて
と
手つだってあげよう



とも
友だちがけがをしたら
たあけてあげよう



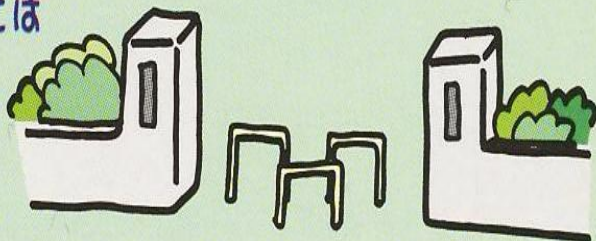
だれとでも
なかよくしようね



とも
友だちをいじめたい
らんぼうしては
いけないよ

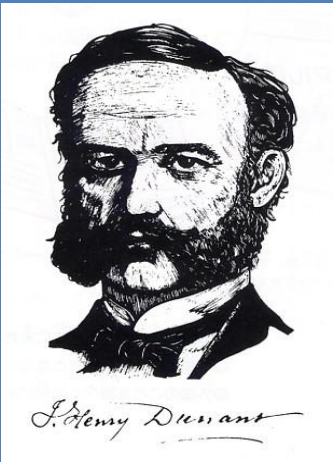


とも
友だちが大切にしている
ものをとってはいけないよ



赤十字の父 アンリー・デュナン

説明資料
おはなし



私はだれでしょう

アンリー・デュナンは1828年5月8日、スイスのジュネーブにうまれました。

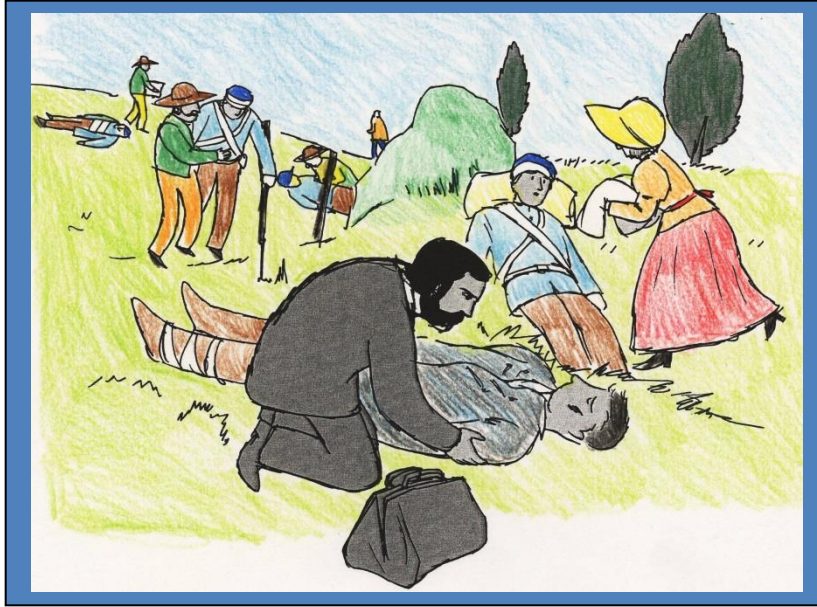
赤十字は、アンリー・デュナンのうったえによってつくられました。

だから、アンリー・デュナンは赤十字の父とよばれ、だい1かい「ノーベル平和賞」をじゅしょうしました。



デュナンは、こどものころから両親(りょうしん)につれられて、まずしいひとにたべものをとどけたり、病人(びょうにん)の見舞い(おみまい)にいたりして、おおくのひとが、いろんなたすけをもとめていることをしりました。

大人(おとな)になったアンリー・デュナン



デュナンは、しごとで「北イタリア」をりょこうちゅうに、たいへん悲惨(ひさん)な戦争(せんそう)にであいました。

この戦争は、1856年6月、イタリアの統一(とういつ)をめぐって、オーストリア軍とフランス・サルジニアの軍とのあいだでおこった「ソルフェリーノのたたかい」といわれるものでした。

たたかいは、15時間もつづき、40,000にんものひとがしんだり、きずつきたおれたのです。

デュナンは、「**みんなおなじ にんげん どうし**」という「あいことば」のもと、まちのひとびといっしょに、「**てき みかたのくべつなく**」きずつuitaひとをたすけました。

おも　で　しゅっぱん 「ソルフェリーノの思い出」を出版

戦いがおわって、ジュネーブかえったデュナンにとって、「ソルフェリーノ」でのことはわすれることができませんでした。

デュナンは、ソルフェリーノのことを「ソルフェリーノの思い出」という本をかきました。

そのなかで、二つのことをうったえました。

- 戦場(せんじょう)で負傷(ふしょう)した兵士(へいし)を敵・味方(てき・みかた)の区別(くべつ)なくたすけるために、各国(かくこく)で民間(民間)の団体(だんたい)をつくる。
- その団体が戦場で安全(あんぜん)に活動できるように国際的(こくさいてき)なやくそくをしよう。

ごにんいいんかい

たんじょう

「五人委員会」・「赤十字の誕生」・ジュネーブ条約

世界中の多くの人々は、アンリー・デュナンのかんがえに、こころをうごかされました。

アンリー・デュナンのかんがえを実現(じつげん)するために、ジュネーブのひとたちは、5人のひとたちをえらびました。



五人委員会は、なんかいも はなしあって、1863年10月に、ヨーロッパ各国から代表者(だいひょうしゃ)をジュネーブにあつめました。

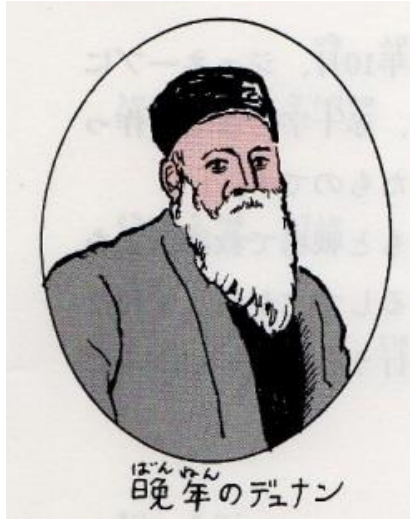
戦場で負傷した兵士を敵味方(てきみかた)の区別(くべつ)なく世話をしたり、たすける。民間の団体(せいふにかんけいない、だんたい)を各国につくることをきめました。**10カ条の赤十字規約**がつくられた。

このとき、団体(だんたい)を表(あらわす)するとして、スイスの国旗(こっき)の色を逆(さかさ)にした「白地に赤十字」(しろじにせきじゅうじ)がまりました。



1864年 スイス政府の名でヨーロッパ各国に手紙が送られ、8月8日から22日まではなしあわれ、「各国の民間の団体を戦場で保護する「ジュネーブ条約」をさだめました。

「ノーベル平和賞」を受けた「アンリー・デュナン」



アンリー・デュナンは赤十字を作(つく)ることに一生懸命(いっしょうけんめい)になり、自分(じぶん)の会社(かいしゃ)の経営(けいえい)に失敗(しっぱい)してしまいました。

月日(つきひ)がたち1895年になり、一人(ひとり)の新聞記者(しんぶんきしゃ)がスイスのハイデンにある病院(びょういん)で67歳(さい)のデュナンにあい、「この人(ひと)が、赤十字の父アンリー・デュナンだ」発表(はつぷつ)しました。

世界中(せかいじゅう)の人々(ひとびと)は、デュナンがハイデンで世(よ)の中(なか)から忘(わす)れられた生活(せいかつ)を送(おく)っていることを知(し)り、とてもおどろきました。

その後(ご)、1901年に最初(さいしょ)のノーベル平和賞がデュナンにおくられました。デュナンは、その賞金(しょうきん)のうちの多(おお)くを赤十字に寄付(きふ)し、1901年10月30日、ハイデンの病院(びょういん)で「みな おなじ にんげん どうし」の気持(きもち)を持(も)ちつづけたまま、82年の生涯(しゅうがい)をとじました。

青少年赤十字のマーク

赤十字のマークは 赤十字の心(やさしさ・おもいやり)



❁ 桜(さくら)は、人 なかま

❁ 14個の桜は、世界の中で14番目に青少年赤十字活動を開始した意味

● さくらの下の青色は、世界の空の色

❁ 「青少年赤十字」のリボンの下の桜らは わたくし



おわり

編集・文責(広島県熊野町 初神保育園の活動を参考にさせていただいております。)

日赤愛媛県支部赤十字活動推進講師 富永安保